

第22回東日本事例研究オンライン研修会 発表概要シート

法人名	セコムフォート多摩株式会社	施設名	コンフォート ロイヤルライフ多摩
発表タイトル	ご入居者の笑顔を引き出したい！コロナ禍におけるイベント企画の工夫の振り返り		
研究の目的	コロナ禍初期、外出自粛や三密回避が求められ、当施設でも感染予防対策の一環として、イベントの中止や縮小が余儀なくされました。ご入居者の活動量や、気力の低下等、感染予防対策の弊害が見受けられたことから、感染リスクを抑えながらご入居者に活力を取り戻していただくイベントを探索しました。その時期の取り組みを振り返り、今後の企画、運営に役立つ学びを得ることを目的としました。		
発表の概要	「館内クイズ」と称して、広い館内にクイズを探し出して、解答する形式で、活動量の増加、ご入居者同士や職員とのコミュニケーション機会の増加を狙った取り組みを企画しました。その企画の工夫や成果を発表します。		
研究方法	企画全体を振り返り、取り組みや工夫をまとめるとともに、ご入居者の反応や変化を整理しました。		
成果・結果	<p>【企画内での工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歩行距離の調整 ②幅広い職員とのコミュニケーションづくり ③参加された入居者同士の会話を生む工夫 ④居室で過ごす時間を充実させる取り組み ⑤居室から少しでも出ていただく工夫 <p>【成果】2020年3月から22回開催し、延べ423名様が参加。 ・ご入居者の反応：適度な疲労感により「よく眠れた」、「食欲が湧いた」、「何より心身ともにリフレッシュできた」など多数の意見をいただきました。</p>		
考察	<p>感染対策によりご入居者からネガティブな発言が聞かれるようになりました。その問題に対し、感染リスクを抑えつつゲーム感覚で楽しみながら体と頭を使って、心身のリフレッシュを図るイベントを企画しました。結果、活動量の増加により、心身機能の回復を狙ったこの企画は予想以上の相乗効果がありました。</p> <p>このことから、課題、問題点を「やむを得ない」と片付けず、知恵を絞り、工夫を凝らせば新たなアイデア、解決の糸口を見つける可能性が膨らむ事を学びました。この学びを「ご入居者の笑顔を引き出すサービスの充実」に繋げていきたいと考えます。</p>		
アピールポイント 伝えたいこと	<p>コロナ禍初期、ご入居者から様々な不安の声や、気力の減少が見られ、ご入居者に笑顔と活力を取り戻していただきたく「館内クイズ」を企画しました。</p> <p>理学療法士からはその場で出来る体操を課題として出題する、看護師からは感染対策などのポイントをお伝えする問題の作成など、多職種の「知恵と工夫」を取り入れたこともこの企画を支える大きな要素となりました。</p> <p>ご入居者の切実な想いを聞けば聞くほど「何かして差し上げることはないか」との気持ちが大きくなり、この企画を推し進めていく原動力になりました。</p> <p>ご入居者とコミュニケーションを重ねることが様々な工夫を生み、結果、参加されたご入居者の生活が徐々に変化していく様子を間近で感じる事が出来ました。</p> <p>様々な工夫の中でも、問題作成に取り組んでいただくことで、居室内で過ごされているご入居者の鬱々とした時間を充実させることに成功した時には、この企画の大きな成果を実感できた瞬間でした。</p> <p>ご入居者に対する想いを大切にしたいこの企画様々な工夫と成果をご理解いただけたら嬉しいです。</p>		